



菅野道廣(すがの みちひろ)

タマゴ科学研究会 理事長
九州大学・熊本県立大学名誉教授

1962年に九州大学農学研究院にて博士号を取得した。その後2年間、博士研究員としてハーバード大学公衆保健学部栄養学科に勤務し、食事摂取とコレステロールエステルの体内調節について研究した。九州大学に助手として戻り、栄養学の観点から脂質代謝に関する研究を始めた。1977年に栄養化学講座の教授となり、1991年に食糧化学講座の教授となった。九州大学では天然由来のコレステロール低下物質(植物スタロール、キトサン、セサミン、非消化性大豆たんぱく由来画分)の研究にあたった。1997年に退官、名誉教授となる。同年、熊本県立大学の生活科学部の教授となり、2000年に同大学長、2004年に退官、名誉教授となる。

これまでに450冊以上の本と、コレステロールや脂質栄養に関係する200以上の総説の執筆に携わった。また、トランス脂肪酸や加工油脂、機能性脂質に関する研究会を立ち上げ、「加工油脂栄養研究会会長」「機能性脂質懇話会代表世話人」(旧CLA懇話会)を努めた。大学退職後は、脂質栄養に関する学術活動に加え、食品企業へのコンサルタント業にも携わっている。これまでに関連する学術協会や日本政府から数多くの賞を受賞している(日本油化学協会論文賞、日本栄養・食糧学会賞、日本農芸化学会功績賞、安藤百福記念賞、瑞宝中綬章叙勲)。

現在日本栄養・食糧学会の名誉会員、日本油化学会とアメリカ油化学会のフェローであり、タマゴ科学研究会の理事長としてタマゴの安全性と栄養について日本に広めるべく尽力している。